

ごあいさつ

宮崎県社会教育委員連絡協議会 会長 森山 喜代香

立春の候 皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年 11 月 9、10 日に「第 47 回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、参加者数は、予想を上回る 837 名となり、盛会とすることができました。本大会では、宮崎から多くのことを発信し充実した内容の深い大会になったと思っております。県内の多くの方々が、心ひとつに「チーム宮崎」として取り組んだ成果であります。これもひとえに、御参加いただいた会員の皆様、そして運営に携わっていただきました関係者の皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。

本大会を終えたことが、また、新たなスタートであると思っております。今後も本県の社会教育の振興と、皆様の御活躍を祈念いたしまして会報 23 号を発行いたします。

第 47 回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会を振り返って

1 本県からの分科会「発表者」「司会者」大活躍！

【第 3 分科会「地域における学校との協働体制づくり」】

○ 発表者：特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校 理事長 杉田 英治 氏

「地域で生き抜く力を育む！放課後子ども教室『五ヶ瀬風の子自然学校』～毎日、子どもたちに地域社会が関わる仕組みづくり～」をテーマに発表していただきました。「五ヶ瀬風の子自然学校」は、子供たちが、安全な居場所として主体的に体験学習を行うことで、五ヶ瀬町で生き抜く力を育むとともに、子供たちの抱える問題や夢などについて、学校や保護者と情報を共有し、将来は五ヶ瀬町に戻って活躍する人材の育成を目指すという、大変参考になる取組を紹介していただきました。



○ 司会者：県教育研修センター 教育支援課 社会教育主事 平部 至識 氏

本分科会の討議の視点や発表事例をもとに、事前に協議の柱を立てておく等、準備段階から念入りに取り組んでいただきました。当日は、会場からの意見や質問を多く取り上げ、本分科会の所期の目的を達成する協議にいただきました。

(御多用の中、それぞれの役割に御尽力いただきました。ありがとうございました。)



2 スタッフ一同「おもてなしの心」で参加者を迎えた結果・・・

本大会の中で、次のようなエピソードがありました。

① 県外の事務局よりこんな言葉をいただきました。

「分科会、全体会とも、とても内容が濃いもので、すばらしい大会でしたね。久しぶりに勉強させていただきました。」とのこと。全体会のパネルディスカッションでは、社会教育・学校教育・地域づくりの分野から実践に裏打ちされた発言をいただきました。詳細は、県生涯学習課ホームページ「みやざき学び応援ネット」に掲載しておりますので、ぜひ、御参考ください。

② 1 日目終了後、県外からの参加者同士の会話からこんな声が聞こえてきました。

「分科会も良かったけど、スタッフも良かったね。」とのこと。この話を伺ったとき、スタッフ全員でつくりあげた素晴らしい大会になったと改めて感じ、胸が熱くなりました。

(「チーム宮崎」として一枚岩となって取り組めたことを誇りに思います。ありがとうございました。)

「家庭の日」及び「家庭教育支援」の普及・啓発に御協力をお願いします！

【家庭の日】

青少年の健全な育成に関し、家庭の役割について理解を深めるために「家庭の日」が定められています。

「家庭の日」をきっかけに、次のような親と子の心のふれあう5つの共感活動が期待されています。

- ・共に遊ぶ (共遊)
- ・一緒に食事をする (共食)
- ・1日の出来事などを話し合う (共話)
- ・心地よい汗を流す (共汗)
- ・親子一緒に働く (共働)

本協議会等において、「家庭の日」が定着するよう推進しておりますので、普及啓発の御協力をお願いします。

【家庭教育支援】※右資料参照（県生涯学習課ホームページ「みやざき学び応援ネット」に電子データ有り）

宮崎家庭教育支援条例（平成28年4月1日施行）をもとに、「家庭教育は保護者がその役割を果たすとともに、地域住民や学校等にも家庭教育を支える役割がある」ことの周知をお願いします。



平成28年4月1日が施行日です。

「宮崎県家庭教育支援条例」を知っていますか？

【条例制定の思い】

家庭教育はすべての教育の出発点。

子どもたちは、家族との温かい関わりや様々な体験を通して多くのことを学び、たくましく成長します。

子どもを育てることは、未来の宮崎を支える人財を育てる重要な営みです。

親も悩みながら成功や失敗を繰り返し成長していきます。

地域住民や学校、企業、行政なども力を合わせ、社会全体で子育てや家庭教育を応援していくことが求められています。

（第7条）保護者の役割

子どもに愛情をもって接し、基本的な生活習慣及び倫理観の確立、自立心の育成並びに心身の調和のとれた発達を図るとともに、自らが親として成長していくように努めます。

（第8条）地域住民等の役割

保護者と連携して、家庭教育を行うために良好な地域環境の整備に努めるとともに、地域の歴史、伝統、文化、行事等を通じ、子どもの健全な育成に努めます。

それぞれ役割があるんだよ！



御理解と御協力をお願いします！

（第9条）学校等の役割

保護者、地域住民及び地域活動団体と連携して、子どもの健全な成長のために必要な基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、子どもの自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るように努めます。

（第10条）事業者の役割

雇用する従業員の仕事及び家庭生活との両立が図られるよう、必要な就業環境及び雇用環境の整備に努めます。

【※条例の抜粋】

県は地域ぐるみで家庭教育を支える環境づくりを推進していきます。

「社教情報」の購読、感謝申し上げます！

県内に約220名の社会教育委員が配置されている中、今回、200冊を超える社教情報の購入がありました。社会教育委員や関係者の「学び」のツールとして活用されています。今後も継続してご購読くださいますようお願いいたします。

- 平成27年度：73号：103冊 74号：105冊
- 平成28年度：75号：154冊 76号：168冊
- 平成29年度：77号：187冊 78号：214冊



ご案内

平成30年度 宮崎県社会教育委員連絡協議会 関連の各種会議・研究大会等の日程(案)です。

第1回理事会

- 5月31日（木） 県庁4号館2階教育共用会議室
- ・役員改選、協議（総会「議題」審議 他）

第2回理事会

- 2月7日（木） 県庁4号館2階教育共用会議室
- ・今年度のまとめ、次年度の計画

総会・研修会

- 8月1日（水） 県立図書館
- 内容
 - (1) 総会
役員承認、平成29年度事業実績報告、決算報告並びに監査報告、平成30年度事業計画案、収支予算案 等
 - (2) 研修会
講演・協議等を予定

第48回九州ブロック社会教育研究大会

- 10月18日（木）、19日（金） 「熊本大会」

第60回全国社会教育研究大会「青森大会」

- 10月24日（水）～26日（金）

宮崎県社会教育委員研究大会

- 12月14日（金） 西都原考古博物館
- 内容
県地域文化功労者・社会教育功労者等表彰式、事例発表、講演等を予定

◇ 会計監査

- 3月19日（火） 県庁4号館2階教育共用会議室

◇ 地区別研修（各地区の計画により実施）

※ 予定は変更になる場合があります。詳細は改めてご案内いたします。

発行責任者 宮崎県社会教育委員連絡協議会事務局（担当：日高）

TEL:0985-26-7245 FAX:0985-26-7342 E-mail:hidaka-masashi@pref.miyazaki.lg.jp